

第6回まちづくり市民会議議事録

- 日 時 平成21年9月17日（木） 午後6時30分～午後8時30分
■場 所 太田市役所10階 政策推進会議室
■出席者 福田副会長、半田副会長、秋山委員、青木委員、窪田委員、新藤委員、
高倉委員、棚澤委員、徳永委員
奥川係長代理、小川主任 (委員9名、市2名)

【概要】

1. 今後の進め方について

- ・各委員が「今後の進め方」について、7月に提出した意見用紙に基づき意見を述べた。
- ・主な意見は次のとおりである。
 - ①2分科会程度で議論したい。
 - ②イベントを主にする（集客か市民参加）。
 - ③市民（若い人）を集めたい。
 - ④観光の流れを認識すること。
 - ⑤実践できるテーマに絞り込む。
 - ⑥話し合いの軸を決める。
 - ⑦新たな資源を発掘する。
 - ⑧1つの会議に1つのテーマとする。
 - ⑨長期的なテーマと短期的なテーマを並列させる。
 - ⑩太田市にしかないものをテーマとする。
 - ⑪産業遺産を活用したい。
- ・短期的なスパンと長期的なスパンで考えていく方法があるが、実現できる可能性が高い短期的なスパンの方が良い。
- ・10～20年先を考えるのは漠然としていて難しいため、できる限り現在に近い位置を捉えて考えるのが良い。
- ・今あることを考える再発見や資源発掘では限界がある。
- ・まちづくりと観光振興は一体であり、50～100年先を踏まえて考える必要がある。
- ・太田市の魅力を未来に向けて創っていかなければならない。
- ・50～100年先のことを考えるのは、金山に城を造るようなテーマとなってしまう。
- ・「京都市未来まちづくり100人委員会」が参考になる。
- ・よさこいソーランなどの例があるが、既存のものに付加価値を付けていくような考えが良い。

2. 太田市の観光の長所・短所について

- ・各委員の意見を集約すると次のとおりである。

●長所（優れている点）

- ・雇用の場があり、市がまちづくりの醸成に努力している。
- ・太田市花火大会や尾島ねぶたまつりは、民間、行政、ボランティアなどが協力して実施しており評判が良い。
- ・市長のアイデア豊かな行政手腕が全国的に知られているため、行政視察の観光で人を誘致できる可能性がある。
- ・北関東自動車道の2ヵ所のインターチェンジや東武鉄道など、交通アクセスが整備されている。
- ・観光資源（名所旧跡、イベント、特産物）がある（観光資源となりうるものが多い）。
- ・スバルのまちとして知名度がある。
- ・金山や太田駅を中心に開発し、おおた観光再発見バスツアーなど地道な努力をしている。
- ・案内パンフレットや案内看板がある。

●短所（欠けている点）

- ・大光院と周辺の門前町が寂れている。
- ・おおた夏まつりは主催者が分かりづらく、行政の援助が必要である。
- ・観光客誘致に関し、市が力を入れてきた形跡が見受けられない。
- ・太田市には魅力的で話題になる食べ物、レストラン、お土産などが無い。
- ・市の歴史関係施設の運営は非効率である。
- ・史跡ボランティアガイドの受付と控え場所が無い。
- ・市内の公共交通（バスなど）が不便である。
- ・太田市は観光の下地がなく、「おもてなしの心」に欠けている。
- ・中心市街地が空洞化している。
- ・宣伝が不足しており、観光スポットを案内するサインや看板も少ない。
- ・地元の人に観光地としての認識がなく、まちぐるみの活動が不足している。
- ・観光地としての知名度が不足している。
- ・観光地としての「うり」がなく、インパクトのあるものがない。
- ・宣伝不足である。
- ・観光振興計画が策定されていない。
- ・観光資源となりうるものが充分把握されておらず、活かしていない。
- ・観光客の立場にたった整備がされていない。

3. その他

- ・次回の会議で、各委員がまちづくり市民会議で採り上げたいテーマを発表する。

【次回の会議】

日時 10月15日（木） 午後6時30分～
場所 太田市役所10階 政策推進会議室